



▲はりま防災フェスタで消火体験をする子どもたち

今年の台風は例年とは少し違ったコースをたどり、北海道や東北地方の農産物にも大きな被害を与えました。丹精込めて作られた秋の味覚を、心していただきたいと思ひます。

◆8月17日播磨町議会の議場で「播磨町中学生議会」が開催されました。加古川青年会議所が主催したもので、播磨中学校と播磨南中学校の3年生16人が議員役を務めました。中学生の皆さんが発表された町政への提案は、若い人の考えがしっかりと盛り込まれていて参考になりました。その中で選ばれた議長、副議長の議事進行も堂々としていて立派でした。大人になって、いつかこの議場に帰ってくる日が来るのを楽しみにしたいと思います。この貴重な体験を忘れないでください。企画された加古川青年会議所の皆様、ありがとうございました。

◆4月にオープンした土山駅南の商業施設内に町が開設した「きつずなホール」は、半年近く経ちましたが、多くの人々にご利用いただいています。電車や友人との待ち合わせに、買い物帰りの休憩に、井戸端会議?に、まちの情報を得るために等々、夏休み中には中学生や高校生の姿も多く見られ、終日にぎわっていました。誰でも、いつでも、遠慮なく気軽に立ち寄って、居心地よく気持ちよく過ごせるそんな「空間」でありたいと思っています。店舗や事業主においても利用者の利便性を増すために、オープン以来いろいろな面で改善をいただいています。駐車場も9月から1時間無料となりました。店舗サービスもそれぞれに工夫されていますが、商業施設を運営する事業主と町が協賛して行うイベントもあります。9月3日には町の行う「はりま防災フェスタ」とBiVi土山の「かえっこバザール」の共催イベントに大勢の親子連れが参加し大盛況でした。

播磨町長 清水ひろ子

中学生議会が開催されました

学校教育グループ ☎079(435)0545

8月17日播磨中学校、播磨南中学校の生徒16人が議員役となって中学生議会が開催されました。議長は、播磨中学校3年寺田有佑君、副議長は播磨南中学校3年享保真斗君が務め、約1時間の議事をスムーズに進行しました。

議員役となった中学生たちは、日頃から感じている播磨町の課題やその解決策などを議案として取り上げ、播磨町長をはじめ、議会議長、播磨町理事による答弁がなされました。本議会さながらの中学生議会となり、これからの社会を担う若い力に無限の可能性を感じた1日となりました。



▲本議会と同じく質問と答弁ですすめられました

播磨町ことぶき大学学生自治会主催 第1回ことぶき大学ふるさと夏まつり開催

中央公民館 ☎079(437)6980

8月31日中央公民館において、学生自治会が中心となり、町内で活動する団体の交流と親睦を目的に、第1回ことぶき大学ふるさと夏まつりを開催しました。

ロビーではわたがし、ポップコーン、フランクフルトなどの模擬店、大ホールでは播磨保育園5歳児による和太鼓、町内高校生による民謡、アンコーラ(音楽グループ)などのステージもあり、約600人の人でにぎわいました。

最後は盆踊りを全員で行い、参加者も主催したことぶき大学生もとても楽しんだ一日でした。

▲盆おどりで締めくくりました

楽屋裏
そろそろ秋の気配が感じられるはず。体を動かして、おいしいものを食べて、ちよつと遠くまで足を延ばす小旅行もしたい。さて、何からはじめましょうか? そんなとき、私は本屋さんをうろうろします。エクササイズの本、料理のレシピ本やカフェめぐりのガイドブック、旅行雑誌など、平積みしている本や手書きのポップを見ると、その時々流行がよくわかります。じっくり読書も捨てがたい。あれもこれも、欲張りすぎでしょうか?
(宮)

播磨中学校陸上部・播磨南中学校陸上部 全国大会出場

企画グループ ☎079(435)0356

第43回全日本中学校陸上競技選手権大会が長野県で開催されました。出場が決まった播磨中学校2人と播磨南中学校1人の陸上部の選手が、大会前に町長を表敬訪問しました。選手の皆さんは「優勝を目指して頑張りたい」などと、力強く抱負を語ってくれました。



左から 大村将史君(砲丸投)、久保田伴輔君(110mH)、山崎時弥君(4種競技・走高跳)。

※久保田君は、この大会で優勝しました。

また、将来の夢も話し、町長は「日頃の練習成果を思う存分発揮し、オリンピックを目指して頑張ってください」と全員と握手を交わし激励しました。

播磨南高等学校主催 日本文化のつどい

播磨南高等学校 ☎078(944)1157

8月3日、中央公民館において、「日本文化のつどい」を開催しました。舞台では吹奏楽、三味線、絵本の読み聞かせが行われ、ワークショップでは折り紙、紙ふうせん遊び、お茶席が設けられ、子どもたちが笑顔で参加していました。ロビーでは写真の展示が行われるなど多種多様な内容を通し、子どもから高齢者まで世代を超えて交流することができました。

最後には全員で、播磨音頭などの総踊りが行われました。今年も播磨町の皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。



▲世代を越えて交流しました

青年海外協力隊の活動を終えた畔上さんが、グアテマラ共和国での活動を報告

企画グループ ☎079(435)0356

畔上友子さんは、2年間青年海外協力隊のメンバーとして、中央アメリカ北部に位置するグアテマラ共和国で、野菜栽培の指導をされてこられました。

任地先は山奥の村で、野菜を栽培する場所を確保するため、手作業で開墾するところから始まったそうです。

現地での学んだことを生かし、日本に還元できるような仕事ができればとお話しされました。



▲農業支援活動のお話を伺いました

わんぱくはりまっこ



3歳

さんげん そら
三軒 大空くん
(北本荘)

大好きな大空! 思いやりのある子に育ってね。(父・母より)

※撮影時の年齢です。